

プレスリリース 添付資料
員弁川水系天然記念物ネコギギ保護増殖事業

ふるさとの川のネコギギ復活を目指して

- 1 国指定天然記念物ネコギギ（淡水魚）の河川放流で繁殖に成功し稚魚が見つかりました。
- 2 ネコギギの放流を継続しており、市立十社小学校で飼育中のネコギギを11月中旬に放流します。

ネコギギについて

ネコギギは三重県・岐阜県・愛知県の伊勢湾周辺域にのみ分布する日本固有の淡水魚であり、学術上貴重な種として国の天然記念物に指定されています。また、環境省のレッドリストに絶滅危惧種ⅠB類として記載されている保全価値の高い魚です。

夜行性の淡水魚で、繁殖期は7月ころです。

員弁川水系ネコギギ保護増殖事業指導員会

委員長 岐阜協立大学 森 誠一

委員 京都大学 渡辺勝敏

委員 名古屋大学 田代 喬

委員 志摩マリンランド 里中知之

あわせて県、市行政の河川管理部局、野生生物保護部局、水産部局および河川関係者の参画を得ています。

ネコギギ保護増殖事業について

（家系別の飼育等管理）

保護増殖しているネコギギは、京都大学でDNA分析をしています。このDNA分析に基づき、遺伝的多様性を最大限維持するために、すべて家系別に飼育管理しています。また放流に際しても、遺伝的多様性を考慮して家系別にネコギギの数を設定しています。

（放流ネコギギ個体群の遺伝的多様性の維持）

放流開始後は可能な限り遺伝的多様性を高められるように、飼育ネコギギから適切な放流個体を選出して複数年にわたり放流を継続します。

（環境調査及び環境改善）

大きな石の下や、岩の割れ目などをネコギギは利用します。このため放流前の準備の一つとして、員弁川水系にネコギギの良好な生息環境が存在しているか調査しています。また、河川で工事が行われる場合には、「天然記念物ネコギギ保護管理指針」（三重県, 2005）

<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/common/content/000146722.pdf> に基づいてネ

コギギの生息環境を考慮した設計及び施工が行われています。

(野外繁殖実験)

飼育下で繁殖させたネコギギを用いて、文化庁の許可を受け「生物多様性の保全をめざした魚類の放流ガイドライン」(日本魚類学会, 2005) <http://www.fish-isj.jp/info/050406.html> に基づいた放流による野外繁殖実験を行っています。

放流ネコギギの河川繁殖を確認すること、及び生存を確認することで個体群の復活に向けた放流方法の知見を得ることを目的としてモニタリング(追跡調査)をしています。

平成 28 年 7 月 20 日

員弁川水系の支流でネコギギの放流を開始しました。

放流日からモニタリングを開始しました。

平成 29 年 8 月 29 日、平成 30 年 8 月 30 日及び令和 2 年 10 月

ネコギギ稚魚(0歳魚=当歳魚)が見つかりました。(7月ころネコギギが野外繁殖したと推定されます。)

ネコギギ野外繁殖実験で3シーズン目の成功を確認しました。

これまでに約 1,700 匹のネコギギを放流しています。

今後もモニタリングを継続します。